

平成24年第1回(3月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
1 (17番) 尾野 正義	1 教育問題について	(1) 小中一貫教育について
		(2) 30人学級の達成率は。
	2 生活環境改善について	(1) 町名番地の表示板について
	3 災害時対策について	(1) 災害時の明確な避難指導について
(2) 障害者の避難訓練について		
4 地方行政の活性化について	(1) 本市の地域分権について進捗状況を求める。	
2 (5番) 中川 康隆	1 今後の上水道事業について	(1) 上水道管の老朽化及び耐震化についての現状と対策はどうするのか。
		(2) 本市の現在の水供給状況と今後予想される問題点は。
	2 本市企業の活性化、地場主義について	(1) 地場主義を掲げてありますが、地元中小・零細企業をさらに活性化するための今後の施策はどうするのか。
3 ちくしのウォーキング事業について	(1) 健康増進事業「ちよいと10分ちくしのウォーキング事業」について、どのように実施・推進するのか。	
3 (12番) 下成 正一	1 中心市街地活性化における総合課題について	(1) 筑紫野市は計画的なまちづくり推進を施策としてどのように実現していくのか。
		(2) 西鉄二日市駅西口広場、駅舎の改築等について、市は協議をもたれているのか。
		(3) ジャスコ跡地の利用について、市は長期にわたり土地の保有を続け、処分困難な状況にあるが、どのように考えているのか。
		(4) 中心市街地の空き店舗の状況は把握されているのか。
		(5) 空き店舗利用促進事業の制度見直しがあり、その後の利用状況はどうか。
	2 市民後見人養成研修事業について	(1) 筑紫野市は、なぜ市民後見人養成研修を企画されたのか。経緯と背景は何か。
(2) 受講生の募集はどのようにされたか。受講者数は何人か。		
(3) 「市民後見人」の今後のフォローアップ研修と研修で習得した知識・技能を地域福祉に生かしていくためにどのような形で活用していくのか。		
4 (9番) 永岡 正光	1 市の発展について	(1) 自治体の経営戦略は地域振興・地域活性面から重要である。どう考えてあるか。
		(2) 民間企業の収益は自治体でいうと何にあたるのか。
		(3) 戦略活動には組織づくりが最重要である。どう考えてあるか。
		(4) 市の戦略運用として発展成果に向けたビジョンや方向性、方策をどう考え、どう取り組まれていくのか。
	2 行政区について	(1) 行政区の区割りや機能、行政区数についてどう考えてあるか。
		(2) 現在まで検討したことがあるか。
		(3) その結果どうだったか。
		(4) 今後、検討し具現化していく考えはあるか。

平成24年第1回(3月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
(9番) 永岡 正光	3 緊急情報伝達について	(1) 市民生活面からの情報伝達・周知をどう考えてあるか。
		(2) 防災、防犯活動面からの情報伝達・周知をどう考えてあるか。
		(3) 現在までどのような検討、実施がなされてきたか。
		(4) その結果どうだったか。
		(5) 今後、検討し具現化していく考えはあるか。
	4 救急救命について	(1) AED(自動体外式除細動器)の設置状況はどうか。
		(2) 行政区への設置支援の考えはあるか。
	5 (4番) 井上 剛士	1 防犯対策について
(2) 防犯組織、活動について		
(3) 犯罪抑止効果が高い、防犯カメラの設置について		
2 自転車の安全な利用について		(1) 市営自転車駐車場の利用状況について
		(2) 自転車事故の状況について
		(3) 自転車の安全な利用の対策について
6 (15番) 田中 允	1 エコ・センチュリー21(株)の産廃処理施設設置について	(1) エコ・センチュリー21対策山家・御笠特別委員会からなされた陳情について
		(2) 産廃処理施設設置に反対する9項目による問題が提議されているが、市の見解(項目別)を。
		(3) 山家地区・御笠地区住民の70%を超える反対署名があるこの陳情をどのように受けとめているのか。
		(4) 今後も県まかせでないとうにもならないものなのか。
	2 市長選挙公約にあった「環境と共生する企業の誘致」について	(1) 環境共生型の企業を誘致し、雇用の創出と財政の健全化を推進されることだが、対象となる事業の内容や企業とは。
		(2) 環境共生型の企業誘致の進捗状況は。(企業からのアプローチ等)
		(3) 調整区域等土地利用の規制があるなか、環境共生型の企業はもちろんのこと一般企業の誘致に有効な施策はあるのか。
	3 新市庁舎建設について	(1) 市庁舎について、市民アンケートの結果が公表され70%以上の方が新築を求めている。この際、具体的に建設計画に着手しては。
	4 新市庁舎建設の手法について	(1) 田中元市長時代に候補地等について諮問機関で協議なされたが、藤田市長の考えは。
		(2) 財源確保について
		(3) 新春の集いでは、地域施設の新築、建て替えを公言されたが、市庁舎建設と、並行して進めるのか。

平成24年第1回(3月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
(15番) 田中 允	5 学校給食制度をセンター方式から自校方式へ	(1) 共同調理場の現況と将来の計画について
		(2) 地場産の食材や、地域のボランティア(有償)を活用し地域振興の活性化を。
		(3) 子どもたちが調理現場にふれることができ、食育の促進、また、できたての昼食をとれたり、アレルギー対策等きめ細やかな対応ができる。
		(4) 小1と中3のメニューが同一と聞くがいかがなものか。
		(5) 細菌等による集団感染症などのリスクが分散される。
		(6) 高齢化社会に向けた給食サービスも検討しては。
		(7) 年次計画をたて(毎年1~2校ずつ取り組み)自校方式で地場産業育成に直結を。藤田市長決断の時ではないか!
7 (3番) 武光 誠	1 戸籍・住民票等の交付事務における市民の人権保障について	(1) プライバシー保護並びに自己情報コントロール権確立のために「本人通知制度」の導入について (2) 窓口における具体的対応と職員の人権意識向上のための手立てについて
	2 同和問題実態調査結果を真摯かつ客観的に科学的に踏まえた、今後の同和行政の展開について	(1) 今回の調査の中での格差の推移は大きな意味を持っていると考えるが、この格差をどうとらえているのか。
	3 教育施策の重点課題である「知・徳・体」が三位一体となった教育改革実現について	(1) その具体策とは、どのようなものか。
8 (11番) 辻本 美恵子	1 学校図書館と公共図書館の連携について	(1) 学校図書館の司書充実について具体的な進め方。
		(2) 各学校での蔵書の整備として、廃棄の取り組み方と基準冊数などの達成に向けた計画的な購入について
		(3) 調べ学習への対応に付いて、学校間の連携、公共図書館の役割と連携など、ネットワークの構築について
		(4) 読書活動推進計画の進め方。
	2 森林資源の活用について	(1) 森林資源の質と量について
		(2) 林業の現状をどのように認識しているか。
		(3) 再生可能エネルギーとしての活用方法について
		(4) 仕事としての林業の推進について
	3 認知症の方の見守りについて	(1) 地域包括支援センターの役割について
		(2) 地域の公民館や公共的な施設を利用したサロン等の機会や、交流施設の整備状況について
		(3) 地域密着型サービスの具体的な内容と整備状況について
		(4) 自治会での体制や、市民団体の活動、オレンジリングなどのサポーターなど、認知症の方を支える仕組みについて

平成24年第1回(3月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目
9 (2番) 篠原 範子	1 エコ・センチュリー21 (株) について	(1) 住民説明会はメーカーではなく事業者自ら責任をもって説明すべき。市民を守る立場としてどのように考えるか。
		(2) 燃えがら・ばいじんの処分を行う管理型処分場は廃棄物の処理及び清掃に関する法律違反を繰り返している業者。市はそのことを承知しているか。
		(3) 中間処理後持ち込む管理型処分場の残容量はどの程度なのか。市は承知しているか。
		(4) 多くの違反事実・残余量のない最終処分場を指定するようなずさんな計画書を提出する業者ではないか。見解を。
	2 民生委員の待遇改善について	(1) 民生委員・児童委員を増員するとともに、費用弁償の増額を国・県に求めるべきでは。
		(2) 当面市独自で増額を行うべきではないか。
3 青年の居場所づくりについて	(1) 青年の孤立化が進んでいる。交流や連帯の場、居場所づくりが求められているが、市の見解を聞く。	
	(2) 生涯学習センター等の自習コーナーの改善と拡充を求める。見解を。	
10 (1番) 城間 広子	1 長崎街道400周年と山家・御笠の産廃問題について	(1) (株)環境施設、(有)博南開発、(株)矢ヶ部開発に対する県の指導について、環境を守る立場から市の見解を問う。
		(2) エコ・センチュリー21 (株)の母体、(株)環境施設が提出した「マスバランスシート」の疑問について
		(3) 400周年を迎える長崎街道を産廃ロードでなく、地域おこしと環境を守る街道への市の具体策を問う。
	2 国民健康保険制度について	(1) 国の国民健康保険制度の都道府県単位化について
		(2) 短期保険証1ヵ月証、3ヵ月証、6ヵ月証、資格証明書の発行について
		(3) 国民健康保険法第44条に定める所得減少世帯に対する窓口一部負担金減免制度について
		(4) 納期の年9回を拡大すべきでは。
	3 同和行政について	(1) 貧困と格差が広がる中、運動団体補助金等を見直し、就学援助事業の拡充を。
		(2) 部落解放同盟筑紫地区協議会事務所の明け渡し問題の進捗状況について
	11 (7番) 佐藤 政志	1 高齢者対策について
(2) 一人暮らし世帯への施策について		
(3) 2世代3世代家族への構成(近隣)への取り組みについて		
2 国際交流について		(1) 現在の取り組み状況について
		(2) 日本語教室の開設について
3 まちづくり支援について		(1) 地域コミュニティの取り組みについて
		(2) コミュニティビジネスについて

平成24年第1回(3月)筑紫野市議会定例会一般質問

質問者	質問題目	質問項目	
12 (10番) 宮原 智美	1 交通不便地域における高齢者等移動支援について	(1) 交通不便地域(駅から1キロメートル、バス停から500メートルの外側)について (2) 交通弱者についての調査、研究の進捗状況は。 (3) 地域交通計画の必要性について (4) 糸島市、大野城市のような地域と市の協働での事業実施はできないでしょうか。	
	2 学校の教育環境について	(1) 電子黒板使用の学習効果について、どう評価していますか。 (2) 実物投影機など電子黒板と周辺機器が全教室整備を目安にとされています。どう対応していますか。 (3) 「教材整備緊急3カ年計画」最終年次ですが、新学習指導要領の完全実施に対応する教材の整備状況はどうなっていますか。 (4) 教材、備品の整備計画を立てて取り組む必要があると考えますが、どうでしょうか。	
	13 (14番) 赤司 泰一	1 被災地瓦れきの受け入れについて	(1) 本市の瓦れき受け入れに対する基本姿勢。
			(2) 昨年行われた環境省アンケートについて
			(3) 民間事業者への対処・指導について
		2 筑紫駅西口土地区画整理事業について	(1) ワークショップについて

